

令和6年2月定例会一般質問発言通告表

| 発言 順序 | 議席 番号 | 氏名 | 中 野 健太郎 議員 | 1 / 1 |
|----------|---------------------------------|---|------------|--------------------------|
| 発言項目 | | 要 旨 | | 答弁者 |
| 1 | J-クレジットの有効活用について～ゼロカーボン推進戦略を問う～ | <p>企業が森林保護や植林、省エネルギー設備の導入などを行うことで生じた温室効果ガスの排出削減効果を「クレジット(排出権)」として発行し、企業間で温室効果ガスの排出削減量を売買する国のJ-クレジット制度の導入が全国で広がりを見せている。富士宮市ゼロカーボン推進戦略では、第7章「実現に向けた取組」の方針2「パートナーシップによる『地域循環共生圏』の形成」において、「多様な主体との協働による森林整備の推進と里山資源の活用」を掲げているが、具体的な動きが見えづらく、現状目標は森林のCO2吸収量の維持にとどまっている。</p> <p>そこで、市内の広大な森林のポテンシャルを最大限発揮して持続可能な森林経営を実現する取組が、環境と経済の両立を図る上で重要であると考え、以下、質問する。</p> <p>(1) 富士宮市有林及び財産区の保有する森林の規模について。</p> <p>(2) 上記(1)の森林における荒廃森林の規模と割合について。</p> <p>(3) 市内の森林・林業の担い手の充足状況について。</p> <p>(4) ゼロカーボン推進戦略では脱炭素推進に向けて、「特に、産業部門との協働が不可欠」(18ページ：二酸化炭素排出量と再生可能エネルギーの現状)とあるが、これまでにどのような協働事業に取り組んできたのか。</p> <p>(5) 民間活力を導入して市有林を生かすJ-クレジット創出に関する連携協定を提案するが、いかがか。</p> | | 市長 副市長 教育長 関係部長 |
| 2 | 带状疱疹ワクチン接種費用の助成について | <p>加齢やストレスなどで免疫力が低下した際に神経や皮膚に炎症を起こす带状疱疹は、幼少期にかかった水ぼうそうウイルスが再活性化し、成人期に激しい痛みを伴って発症する。特に50代からの発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症し、うち2割が带状疱疹後、神経痛になると言われている。带状疱疹の発症及び重篤化を予防するためには带状疱疹ワクチンの接種が効果的である一方、現状、全額自己負担であることから接種を躊躇している市民もいる。そこで、市民のクオリティー・オブ・ライフを高め、接種希望の思いをかなえるためのワクチン接種費用の助成を提案し、以下質問する。</p> <p>(1) 市内の带状疱疹罹患の状況について。</p> <p>(2) 早期発見及び早期治療を促す啓発活動について。</p> <p>(3) 带状疱疹ワクチン接種費用の助成を行う考えはあるか。</p> | | 市長 副市長 教育長 関係部長 |